

第一ファインケミカル（株）のキラルテクノロジー

第一ファインケミカル株式会社 開発営業部
部長 坂本 恵司

第一ファインケミカル株式会社は、1946年に高岡市に富士薬品工業社として創立し、プロカイン塩酸塩の製造を開始しました。その後、メチルエフェドリン塩酸塩、アミノ安息香酸、スルピリン、パントテン酸カルシウム、プロスタグランジン類などを製造し、医薬品原薬メーカーとしての基礎を築き、多くの製薬会社の医薬品原薬、医薬中間体の受託生産をおこなって参りました。このように、弊社はプロスタグランジン類のようなスーパーファインケミカルから、年間生産量が数千トンに及ぶパントテン酸カルシウムの生産まで、幅広いスケールに対応した製造技術・設備を有しております。

2007年6月より、現在の協和発酵キリングループのバイオケミカル事業の一翼を担う中核企業として、新しいスタートを切りました。

弊社がビジネスの大きな柱としている医薬品原薬、医薬中間体の製造・販売については、数多くの高純度な不斉化合物が求められ、それらの供給には、高度で特色のあるキラルテクノロジーが必須となります。

今回は、弊社が取り組んでいるキラルテクノロジー（ジアステレオマー塩による光学分割法、有機金属錯体触媒による不斉水素化法、酵素法）を紹介させていただきます。

略 歴

坂本 恵司 (さかもと けいじ)

1975年 金沢大学薬学部修士課程薬品合成化学専攻 修了
同年 富士薬品工業株式会社研究所 入社
2001年 研究部 基盤技術開発担当部長
同年 日本化学会化学技術賞 受賞
2004年 農学博士 (京都大学)
2005年 技術部 応用開発担当部長
2008年 開発営業部長 (現職)
同年 文部科学大臣表彰 科学技術賞 (開発部門) 受賞